

(一般・代表) 質問通告書

令和 8年 2月 23日
16時 16分受付 ①番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 8年 2月 24日

会派名 みらいの会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 山田 忠

質問事項

1. 施政方針や市の取り組みについて 【補助資料 有・無】 (市長・教育長)

質問要旨 (課題・問題点等)

未来のまちづくりについて、魅力的な自然環境や子育て環境を生かしながら移住・定住を進めるとあるが、具体的にどのように後押しするのか。また、宝満川左岸地域について、農業関連資本の誘導等による持続可能な農業の可能性を探りとあるが、今後の農業の展望について問う。

誰もが住み心地の良いまちづくりでは、学び場・居場所づくりにおいて、「第三の学び場づくり」に取り組むが、現状での期待する効果は何か。

子育てに良いまちづくりにおいて、「未来を拓く力」を育む学校教育の充実とは、具体的にどのようなものか。また、不登校に関し現状と傾向について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 人口動態の現状と課題について問う。
- (2) 移住・定住プロジェクトの成果と課題について問う。
- (3) 農業をより強靱なものにするための具体的な施策を問う。
- (4) 豊かな子ども・子育てに地域社会がどのような観点で取り組むのか問う。
- (5) 校内教育支援センターSSR 設置に至った経緯と期待する効果について問う。
- (6) 不登校児童・生徒の対応について問う。

(一般・代表)質問通告書

令和 8 年 2 月 20 日
14時 28分受付 ②番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 8 年 2 月 20 日

会派名 自由の風

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 佐々木 益雄

質問事項

1. 宝城川左岸地域の人口減対策・地域振興について 【補助資料 有・**無**】 (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

宝満川左岸地域の振興については、これまで多くの議員が地域の人口減対策や活性化について質問をしてきた。味坂・御原・立石それぞれの校区は市の基幹産業である農業を中心に形成され、農業振興の発展に期待をして進められてきたが、高齢化、後継者不足等に伴い農業形態が変わり大変厳しい状況にあり、それに伴い過疎化も進み人口が減少する等大きな打撃を受けている。一方筑後小郡インターチェンジ周辺まちづくり構想策定により、立石校区は今後住宅建設が予定され、また御原校区はあすてらす南団地の住宅建設等により、既に小学校を増築する等対策が進んでいるが、味坂校区を含む今後の人口減対策並び持続可能な地域づくりに向けた積極的な取り組みについて問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 地区人口・高齢者人口の推移状況について問う。
- (2) 市内の保育所・保育園の定数及び入所状況について問う。
- (3) 筑後小郡スマートインターチェンジ周辺まちづくりについて問う。
- (4) 都市計画法第34条第12号の指定状況について問う。
- (5) 地区計画について問う。
- (6) 地方創生伴走型支援について問う。
- (7) 味坂校区のまちづくり構想について問う。

質問事項

2. のるーと小郡について 【補助資料 有・**無**】 (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

令和5年10月より市民の期待感が高まる中、実施運行が始まって2年余りが経過したが、市民の方々から様々な意見が出されている。これまで市民の要望や意見を整理し今後どのように改善していくのかを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) のるーとの利用状況について問う。
- (2) アプリなどの手続き対応について問う。
- (3) これまでの課題と今後の対応について問う。

(一般代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 8年 2月 17日
10時 24分受付 1番

令和 8年 2月 17日

会派名 自由の風

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 高木 良郎

質問事項

1. 小郡市における財政状況の現状と将来の見込みを問う

【補助資料 有・無】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

物価上昇や少子高齢化の進行等の社会情勢の変化により、扶助費・物件費・人件費の増加、又、社会保障費の増大等で市の歳出は年々増加してきている。又、施設やインフラの老朽化に対する費用も増えてきているが、更に給食センターや消防署・体育館建設と多大な財源を要しているだけでなく、今後庁舎建設も予定されるという中で将来の財政状況を問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 歳入及び歳出の課題は何か、投資的経費の年間予算額の考え方について問う。
- (2) 現在の市債残高と今後予定される年度別市債発行額及び返済の具体的手法について問う。
- (3) 給食センター建設、運営に係る経費の総額と財政負担の内訳 (起債、借入れ金総額と利率) について問う。
- (4) 三井消防署建設の事業費の総額と財源の内訳と内容について問う。(小郡負担分のみ)
- (5) 体育館建設における事業費の総額と財源の内訳とその内容について問う。
- (6) 市庁舎建設における事業費の総額と財源の内訳とその内容について問う。
- (7) それ以外で今後3年間で予定されている1億円以上かかる事業について問う。

(一般)代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 8年 2月 18日
9時 53分受付 2番

令和 8年 2月 18日

会派名 自由の風

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 橋間 順平

質問事項

1. 組織機構見直し・係制廃止・グループ制導入について【補助資料 有・**無**】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

組織の見直しは、「住民サービスの向上」と「職員の負担軽減」が必要である。小郡市は、単なる人員配置の見直しやシステムの変更にとどまっている。そのことによって、組織が細分化され、組織が大きくなり、職員の方向性の共有が困難になってきている。

係制を廃止し、グループ制を導入し、職員の流動化や協業体制の強化を図り、効果的・効率的な組織運営、業務の繁忙調整や職員単位の業務量平準化を目指すところがあるが、住民の多様なニーズへの対応とサービス向上の推進が必要である。業務は法務・制度の専門性が求められ、特に福祉、建築土木、保健、ICTなどは、分野ごとの専門知識が必要である中で係制を廃止し、グループ制を導入することについて問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 小郡市職員定数条例、職員定数、休職者、行政機構図について尋ねる。
- (2) 小郡市事務分掌規則、教育委員会事務局の内部組織に関する規則について尋ねる。
- (3) 組織の見直しに関して、目的、対象の明確化、運用、改善、メリットを尋ねる。
- (4) 組織のスリム化と外部委託、DXについて尋ねる。
- (5) 係制を廃止し、グループ制を導入するメリット・デメリットについて尋ねる。
- (6) 係制を廃止し、グループ制を導入することによって「専門性」「制度の運用」「公平性の担保」「長期的な公益の追求」等の実務が低下するのではないか。
- (7) 係制を廃止しグループ制を導入した場合の業務マニュアル化について尋ねる。
- (8) 業務マニュアル、業務日報、週報、業務引継ぎについて尋ねる。
- (9) 業務の可視化と平準化について問う。

(一般・代表)質問通告書

令和 8年 2月 19日
22時 52分受付 3番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 8年 2月 19日

会派名 公明党

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 甲斐田 典彦

質問事項

1. 小学校への冷水機導入について

【補助資料 有・無】(教育長)

質問要旨 (課題・問題点等)

一昨年6月にも学校への冷水機導入を提案したが、近年は児童の水分補給が季節を問わず必須となり、マイボトルの持参が日常化している。今年も猛暑が予測される中、学校に冷水機を整備することは熱中症対策として極めて重要である。冷水機があれば、大きな水筒を持ち歩く負担が軽減され、繰り返し利用する行動が自然と身につく、環境教育にもつながる。また、体育や休み時間、部活動後に冷たい水をすぐ飲むことで健康維持にも寄与する。近年はレンタル方式も普及し、費用負担の抑制も可能である。まずは小学校から導入できないかを改めて問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 猛暑日が増える中、体育や休み時間に冷たい水をすぐ飲む環境は児童の健康維持に不可欠である。本市として冷水機整備はその後、どのように検討を進めてきたかを問う。
- (2) 冷水機整備により大きな水筒が不要となり、資源を大切に作る習慣が育つなど環境教育に効果がある。この点について市の見解を問う。
- (3) 冷水機はレンタル方式で初期費用を抑えて導入できる事例が増えている。本市でも小学校から段階的に導入可能か、費用面を含め検討状況を問う。

質問事項

2. 緊急通報システムの見直しについて

【補助資料 有・無】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

小郡市の緊急通報システムは独居高齢者等の安心確保を目的としているが、固定電話が必要なため利用できない事例が発生している。最近では詐欺やセールス被害が心配で、固定電話を設置していない世帯も増えている。携帯型や見守り機能付きの通報サービスを導入する自治体も広がっている。固定電話を持たない高齢者も利用できる仕組みを検討すべきではないか。

質問明細 (具体的に)

- (1) 緊急通報システムの仕組み及び、対象者、設置数、利用実績、通報対応の流れなど現状を問う。
- (2) 固定電話の設置がなく、利用できなかった事例や、相談件数を問う。
- (3) 他自治体の導入の状況や効果、小郡市で導入ができない課題、今後の導入の検討はできないか問う。

冷水機の進化

近年の冷水機（マイボトル給水型）



- 衛生的で安心
- マイボトルに
汲みやすい
- 床に水を
こぼしにくい

一般代表)質問通告書

令和 8年 2月 21日
7時 39分受付 5番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 8年 2月 21日

会派名 _____

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 新原 善信

質問事項

1. 小郡市こどもの権利条例の制定の意義について【補助資料 有・~~無~~】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

小郡市は、本年3月を目途に「小郡市こどもの権利条例」を制定の予定である。この条例では、こどもの権利に対する正しい知識を広く周知し、家庭や学校、地域が一体となってこどもの権利を守るための取組を推進していくものとなっている。そこで、この条例の制定によって守られるこどもの権利とはどのようなものであるか、また、その実現に向けた具体的取り組みについて問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 条例制定過程で明らかになったこどもの権利の現状と課題は何か。
- (2) この条例はだれにどのような方法で周知していくか。
- (3) こどもの権利を守るための具体的な取り組みの内容は何か。

質問事項

2. 給特法改正による学校の働き方改革について【補助資料 有・~~無~~】(教育長)

質問要旨 (課題・問題点等)

昨年6月、教員の給与等に関する特別措置法が改正された。この改正は、長時間労働や教員不足といった喫緊の課題に対応するため、「教師の処遇改善」「学校における働き方改革の一層の促進」「学校の指導・運営体制の充実」を三位一体で進めるものとされている。そこで、特に働き方改革の一層の促進に向けて教育委員会及び学校が講ずべき措置は何かを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 教員の時間外勤務の現状はどうなっているか。
- (2) 業務量管理・健康確保措置実施計画の内容と具体的にどう取り組むのか。
- (3) 学校運営の改善を図るために何をするか。

(一般・代表)質問通告書

令和 8年 2月 23日
9時 33分受付 6番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 8年 2月 23日

会派名 おごおり創志会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 小野 壽義

質問事項

1. 三井消防署建て替えと署員定数について 【補助資料 有・**無**】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

全国で、令和7年1月から6月までの出火件数は2万1525件であり、一日に平均すると119件で、約12分に1件の火災が発生していることになる。

三井消防署を所管する久留米広域消防本部管内の救急出動数は2万5936件で、前年より938件増加している。また、火災も126件で前年より22件の増加である。

久留米広域消防本部は、久留米市、大川市、うきは市、大刀洗町、大木町、そして小郡市の4市2町で構成され、三井消防署は久留米市の一部(旧北野町)、大刀洗町、小郡市の安全安心を担っている。

そこで、現在建て替えが行われている三井消防署と三国出張所について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 三井消防署建設の進捗状況について問う。
- (2) 今後の建設工事予定について問う。
- (3) 新たな三井消防署の体制について問う。
- (4) 三井消防署三国出張所の体制について問う。
- (5) 三井消防署名称の変更はあるのか。

質問事項

2. 市の地震対策と対応について 【補助資料 有・**無**】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

福岡県は地震に関する「防災アセスメント調査」結果を令和7年10月31日公表した。その結果、小郡市に係る警固断層北西部と南東部、そして水縄断層の最大震度が変更なされて、これにより小郡市での災害想定が拡大している。この災害に対する市の考えと対策を問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 市の地域防災計画見直しについて問う。
- (2) 防災アセスメント調査の結果、災害想定が拡大する事での避難所設営状況を問う。
- (3) 防災備蓄品の見直しについて問う。
- (4) 高齢者の避難状況について問う。
- (5) 地域や学校での避難訓練の実施について問う。

(~~一般~~代表)質問通告書

令和 8年 2月 23日
20時 43分受付 7番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和8年2月24日

会派名 みらいの会

小郡市議会議員 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 黒岩 重彦

質問事項

1. 個人情報保護と地域福祉活動の推進について

【補助資料 有・~~無~~】(市長)

質問要旨（課題・問題点等）

少子高齢化が進むなか、地域で受け止め対応していくことが求められる問題として①高齢者・障がい者の問題、②認知症の問題、③孤独死の問題、④虐待の問題、⑤災害時要援護者の避難支援等の問題などがあるが、地域におけるあらゆるニーズをすべて行政施策でカバーするには限界がある。

本市においては、地域福祉活動として民生委員児童委員が取り組んでいる「見守り活動」や自主防災組織による「災害時要援護者の避難支援」などがあるが、支援が必要な人についての情報がなければ、地域で助け合うことは困難となる。個人情報を守って、使って、信頼を築く地域福祉活動の推進が必要である。しかしながら現状は、「過剰反応」により個人情報の提供を拒否する住民も多くあり、併せて個人情報は第三者には提供できないと過剰に意識して地域福祉活動に影響があっている現状もある。これからは、本人の同意や情報共有のルール化により保護と活用のバランスを図りながら、地域福祉活動推進の視点をもってその有効な活用を進めていくことが重要と思われる。

特に、災害時要援護者への支援は重要であり、個人情報保護の関係で要支援者の情報を収集することが難しいという実態がある。日常生活において何らかの支援を必要とする人は、災害時にはより多くの支援が必要となることが想定され、常時服用が必要な薬などの情報も含めた事前の収集が必要となる。

より良いまちづくりとしていくためには、行政と地域が協力して創っていく必要がある。このような状況を踏まえ、本市が取り組んでいる「見守り支援台帳」や「避難行動要支援者名簿」等における個人情報の提供における現状と課題並びに個人情報の取り扱いについて市としての見解を問う。

質問明細（具体的に）

- (1) 個人情報保護に基づく行政情報の提供について問う。
- (2) 個人情報の共有化について問う。
- (3) 「見守り支援台帳」の現状と課題について問う。
- (4) 「避難行動要支援者名簿」の現状と課題について問う。
- (5) 自主防災組織に依頼している「個別避難計画」の現状と課題について問う。
- (6) 個人情報をめぐり「過剰反応」と言われる状況に対し、自ら自身の情報を開示することが、己の身を助けるという「自助教育」の促進について問う。

（一般代表）質問通告書

令和 8年 2月 24日
1時 43分受付 8番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 8年 2月 24日

会派名 おごおり創志会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 川野 悦子

質問事項

1. 誰一人取り残さない地域共生社会について 【補助資料 有・~~無~~】（市長）

質問要旨（課題・問題点等）

「誰一人取り残さない地域共生社会」の実現は、年齢や障がいの有無、生活背景にかかわらず、すべての市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための基盤であり、本市においても重要な政策課題である。

近年、8050問題やダブルケアなど従来の縦割り支援では対応が困難な複合的課題を抱える方が増加している。こうした状況を踏まえ、本市では重層的支援体制整備事業に取り組み、「断らない相談支援」「参加支援」「地域づくり支援」を柱とした包括的支援体制の構築を進めていると認識している。

本質問では、本市における重層的支援体制整備事業の取組状況を確認するとともに、特に社会とのつながりを失いがちな方を支援につなぐ参加支援およびその基盤となる地域づくり支援について、現在の体制、課題、成果ならびに今後の方向性を問う。

質問明細（具体的に）

- （1）重層的支援体制整備事業の現状と課題について問う。
- （2）参加支援の取組状況、現状と課題および成果について問う。
- （3）地域づくり支援の取組状況、現状と課題および成果について問う。
- （4）参加支援・地域づくり支援の連動性および今後の展開について問う。

(一般)質問通告書

令和 8年 2月 24日
8時 42分受付 9番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 8年 2月 24日

会派名 おごおり創志会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 佐藤 源

質問事項

1. 小郡市の産業構造の10年前と現在について **【補助資料 無】** (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

10年前と比較して、どのように小郡市の産業構造は変化したのかについて問う。また、これからの10年で市の産業構造がどのように変化すると予測しているのかについて問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 小郡市における、農業・商業・工業等の産業構造の10年前と現在の変化について問う。特に就業人口、産出額・出荷額・販売額等の変化について問う。
- (2) 今後、超少子高齢化社会を迎えたときに、各産業が抱える問題について市はどのように考えているのかについて問う。
- (3) 基幹産業という言葉が市の各計画に使われているが、そもそも基幹産業という言葉はどういった趣旨で使用しているのか。過去にも質問したが改めて問う。

(一般・代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 8年 2月 24日
9時 15分受付 10番

令和8年 2月 24日

会派名 みらいの会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 後藤 理恵

質問事項

1. 人材育成について

【補助資料 有・無】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

人材育成の基本的手法は概ね「自己啓発」、「職場外教育」と「OJT」の3つに分けられるが、勤務時間のほとんどを職場で過ごす職員にとって、OJT（上司や先輩などの指導者による職場での教育）がもっとも重要なものと言える。令和4年3月に策定された「小郡市行政経営行動計画（R4～R8年度）」の中の実施方針においても、人材育成と組織力の向上を重点的に取り組まれる目標として掲げられている。そこで、これまで具体的に取り組まれた内容と課題、そして今後の更なる目標について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) これまで人材育成における本市の取り組み内容及び課題について問う。
- (2) OJTにおける具体的な取り組みについて問う。
- (3) 機構改革に伴う人材育成の更なる目標について問う。

(一般・代表)質問通告書

令和 8年 2月24日
11時 49分受付 11番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 8年 2月 24日

会派名 公明党

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 田中雅光

質問事項

1. 重層的支援体制の構築について

【補助資料 無】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

これまで何度か取り上げてきたが、独居高齢者支援、生活困窮者支援やひきこもり支援、不登校やヤングケアラーの対応など複合的な要因が絡む事案が増えてきた。国はこれらの複合的な事案に対し、断ることのない重層的支援体制の構築を示唆してきた。小郡市においては令和3年4月から重層的支援体制整備事業がスタートしたとしているが、市おける重層的支援体制の構築に向けた取り組みを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 属性を問わない相談支援・包括的相談支援事業
 - ・8050 問題や生活困窮者支援、高齢者支援、障害者支援、子育て支援など複合的な課題解決へ向けた相談体制の強化について問う。
- (2) 参加支援事業
 - ・特にひきこもり支援対象者や障がい者の社会参加について、具体的な支援を問う。
- (3) 地域づくり事業
 - ・対象者を支える地域づくりについて問う。
 - ・地域資源との連携やその育成などについて問う。
- (4) 多機関協働事業
 - ・多機関が連携する重層的支援会議やその成果について問う。
- (5) アウトリーチ等を通じた継続的支援事業
 - ・対象者の把握や地域住民、民生委員、民間等との連携による継続的な支援について問う。

一般代表)質問通告書

令和 8年 2月 24日
11時 51分受付 12番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 8年 2月 24日

会派名 おごおり創志会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 立山 稔

質問事項

1. 「筑後小郡インター周辺まちづくり構想」並びに「小郡鳥栖南スマートインター周辺まちづくり構想」について【補助資料 無】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

令和8年度施政方針において示されている方向性や施策は、今後の中長期的な小郡市の市勢発展において大きな転換点になると思う。特に1. 未来へのまちづくりの「筑後小郡インター周辺まちづくり構想」並びに「小郡・鳥栖南スマートインター周辺まちづくり構想」に基づくまちづくりは、それぞれ「農業振興地域」における「農用地区域」の土地活用になり、それぞれのエリアの農家、周辺住民、また小郡市にとっても貴重な資産の活用になる。このことは、小郡市にとっても大変重要であり、本市の中長期的なビジョンに基づいたものでなければならぬと考えるが、それぞれのエリアでの動向及び現状について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 「筑後小郡インター周辺まちづくり構想」エリアでの地権者の意向について問う。
- (2) 企業進出意欲について問う。
- (3) 本市の動きについて問う。
- (4) 現状で考えられる課題を問う。
- (5) 課題解決に関して考えがあれば問う。
- (6) 「小郡鳥栖南スマートインターチェンジ周辺まちづくり構想」エリアでの地権者の意向について問う。
- (7) 企業進出意欲について問う。
- (8) 本市の動きについて問う。
- (9) 現状で考えられる課題を問う。
- (10) 課題解決に関して考えがあれば問う。
- (11) 今後、他のエリアにおいても「まちづくり構想」を示す意向があるかどうかを問う。

((一般・代表)質問通告書

会派名 おごおり創志会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 立山 稔

2. 第2次小郡市食料・農業・農村基本計画について (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

令和6年に、25年ぶりに国において改正された「食料・農業・農村基本法」は農業の憲法と言われているが、それを受けて平成25年9月に施行された「小郡市食料・農業・農村基本条例」並びに平成27年3月に策定された「小郡市食料・農業・農村基本計画」も、それぞれに見直しされ、策定されている。その中での基本理念の中で特に「多面的機能の発揮」「農業の持続的な発展」「農村の振興」に関しては、災害時はもとより本市での持続可能な発展に不可欠であると考え。本市でのこれまでの状況把握、現状認識、今後の展開に関する考え方を問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 多面的機能の発揮に対しての取組状況 (組織・団体数) について問う。
- (2) 現在の課題について問う。
- (3) 行政としてのかかわり方について問う。
- (4) 農業の持続的な発展に対しての取組について問う。
- (5) 現在の課題について問う。
- (6) 行政としてのかかわり方について問う。
- (7) 農村の振興に対しての取組について問う。
- (8) 現在の課題について問う。
- (9) 行政としてのかかわり方について問う。
- (10) 人口減少、少子高齢化が著しい点が問題とされている農村集落に関しては、平成16年に、「福岡県都市計画法」に基づく開発許可等の基準に関する条例である「都市計画法第34条の第11号及び第12号」を制定し、エリアを示しているが、その活用状況について問う。

(一般代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 8年 2月 24日
12時 51分受付 13番

令和 8年 2月 24日

会派名 おごおり創志会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 大場 美紀

質問事項

1. 学童保育の現状と課題について **【補助資料 無】** (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

共働きの世帯の増加に伴い、放課後児童クラブの需要は年々高まっている。一方で、「入りたくても入れない」「高学年になると利用できない」「支援員が不足している」といった市民の声が寄せられている。

放課後児童クラブは、単なる預かり機能だけではなく、児童福祉法に基づく事業であり、子どもの健全育成と保護者の就労支援を支える大切な社会基盤である。こどもの権利条例も作成されるなか、放課後児童クラブの運営が子どもの権利の視点から今後どのように運営されていくのかを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 待機児童の発生状況およびその理由について問う。
- (2) 支援員確保のための取り組みについて問う。
- (3) 処遇改善や研修体制について問う。
- (4) 放課後児童クラブの役割をどのように位置づけ、今後充実させるのか問う。

質問事項

2. 文化芸術振興の取り組み・文化協会のかかわりについて **【補助資料 無】** (教育長)

質問要旨 (課題・問題点等)

第6次小郡市総合振興計画において、各種文化芸術活動団体が積極的に活動を続け、活発な活動が行われていると整理されている。一方で、一部の団体では会員の高齢化や減少がみられ、リーダー養成や次世代を担う後進の育成が課題であると明記されている。

それを受け、市は、永く受け継がれてきた文化や伝統など「ふるさとのよさ」に学び触れるといった文化芸術活動への参加機会を提供するとしている。

計画に掲げる現状認識と課題、今後具体的にどのように実施していくのかを問う。あわせて、文化協会との役割を整理し、持続可能な文化継承の在り方を問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 文化芸術振興についての成果指標や目標値は設定しているのか。
- (2) リーダー養成や後進育成について問う。
- (3) 文化協会は市の文化振興施策の中で、どのような位置づけにあるのか問う。
- (4) 加盟団体の減少について、どのような協議を行っているのか問う。
- (5) 文化協会との関係を今後どのように構築していくのかを問う。